

厳島神社: 宝物館

厳島神社の宝物館には、歴史を通じて神社が取得した芸術品、手工芸品、刀や他の武器、衣装やお面、他の価値ある品目が収蔵・展示されています。これらのほとんどは、著名人や有力者からのものであり、信仰を表明したり、祈りの効果性を向上させたり、神に対する感謝を表明したりするために贈ったものです。厳島神社は平安時代（794～1185年）以降の支配者層に人気がありました。天皇、上級貴族、強力な戦国大名が寄進者の一覧表に名を連ねています。1164年の華美な平家納経など、国宝に指定されている寄進物もあります。建物自体は1933年のものであり、登録有形文化財に指定されています。補強のためのコンクリート構造物は、伝統的な日本の建築を彷彿とさせる様式で建てられています。建築家の大江新太郎（1879～1935年）が設計しました。